

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進				(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
コミュニティバス運行事業	企画情報課	34,161人	43,000人					
事業の概要								
事業者路線バスの廃止代替路線として3路線、交通空白地域への対策として8路線を運行している。								
平成29年度実績								
利用者 34,157人								決算額
								37,649千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
							2	
事業に対する評価・課題等								
各路線とも利用者数は減少傾向か横ばいという状況であることから、利用者数の増加と収支率の向上を図るための方策はもちろんのこと、利用者の方々に、今後も継続して利用していただけるような取り組みが必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-	
平成30年度予定								
継続して実施。								予算額
								40,278千円
								目標値
								43,000人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課						
事業の概要							
住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する路線バス運行に要する経費の一部を補助するもの。							
平成29年度実績							
国庫補助路線 40,565千円 8系統 県単補助路線 50,934千円 5系統 市町単独路線 22,122千円 23系統						決算額	
						113,621千円	
						実績値	-
						進捗状況	-
事業に対する評価・課題等							
利用者の減少→路線廃止、減便等縮小→さらなる利用者の減少、といった悪循環に陥っており、路線再編、経費削減等、事業者の経営努力による対応は、既に限界にきている。路線バスの交通網は辛うじて維持されてはいるものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成30年度予定							
継続して実施						予算額	
						113,000千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進	(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続 ● ③新規
離島航路維持・確保事業	企画情報課				
事業の概要					
離島住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する離島航路運航に要する経費の一部を補助するもの。					
平成29年度実績					
九島航路 21,793千円(H27.9.1～H28.4.3運行分) 日振航路 84,988千円					決算額
					106,781千円
					実績値
					-
					進捗状況
					-
事業に対する評価・課題等					
離島航路においては、離島人口の減少を主な原因とする収入減により、欠損額は増加する一方であり、経費削減等、事業者の経営努力による対応も、既に限界にきている。航路ははろうじて維持されてはいるものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					-
平成30年度予定					
九島航路は平成28年4月の架橋完成に伴って廃止されたため、平成29年度の補助(H27.9.1～H28.4.3運航分)で終了となる。日振航路は継続して実施。					予算額
					96,024千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(1) 地域生活支援体制の整備		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H28)	目標値(H29)		
在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>独居高齢者および重度身体障害者等に対し緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。</p>					
平成29年度実績					
利用者数 : 240人(3月末) 総事業費 : 1,790,263円(委託料1,539,703円、設置手数料250,560円)					決算額
					1,791千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
<p>今後も制度の周知を図るなどして、要支援者に対する緊急時の通報体制を整備していきたい。</p>					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成30年度予定					
利用者数 : 260人 総事業費 : 4,040,000円(委託料1,800千円、設置手数料840千円、機器購入費1,400千円)					予算額
					4,040千円
					目標値
—					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
意志疎通支援事業(コミュニケーション支援事業)	福祉課	409人	事業利用者数 500人	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等の意思疎通の円滑化を目的に、手話通訳等の方法により障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を実施する。							
平成29年度実績							
手話通訳者派遣数 525回 要約筆記奉仕員派遣数 6回						決算額	
						4,585千円	
						実績値	
						525人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
ニーズに対して必要な支援を実施。登録通訳者の高齢化や昼間活動できる登録者が限られており、長期にわたり昼間活動できる登録者の育成が今後も必要。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成30年度予定							
平成30年度より事業の利用対象を宇和島圏域の3町(松野・鬼北・愛南)に拡大して実施。						予算額	
						5,631千円	
						目標値	
						事業利用者数	
						500人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
移動支援事業	福祉課							
事業の概要								
屋外で移動に著しい制限のある視覚障害者、全身性障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児に対して、外出のための支援を行うことにより当該障害者等の移動に関する福祉の向上に寄与する。								
平成29年度実績								
実利用者数:10人 延利用者数:64人 延利用時間:535.3時間							決算額	
							908千円	
							実績値	
							10人	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
必要な支援を実施している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成30年度予定								
前年度と同様に実施する。							予算額	
							1,163千円	
							目標値	
							-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)				
地域活動支援センター	福祉課	8,891人	延利用人数 9,500人	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
障害者(児)及びその家族等に対して地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進に寄与する。							
平成29年度実績							
(利用者数 延べ人数) 地域活動支援センターたちばな作業所 1,516人(委託料 6,360,000円/年) 地域活動支援センター柿の木 3,942人(委託料 10,860,000円/年) 地域活動支援センターグリーン工房 2,677人(指定管理 20,394,000円/年) 地域活動支援センター青空どりーむ 527人(直費 4,449,373円/年) 合 計 8,662人(委託料等計42,063,373円/年)						決算額	
						42,064千円	
						実績値	
						8,662人	
						進捗状況	
4							
事業に対する評価・課題等							
必要な支援は実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成30年度予定							
前年度と同様に実施する。						予算額	
						42,417千円	
						目標値	
						延利用者数 9,500人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進				(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
日常生活用具医療等事業	福祉課	573人	600人					
事業の概要								
在宅の重度障害者(児)に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、もって障害者の福祉の増進に寄与する。								
平成29年度実績								
給付件数 2,095件 事業利用者人数 572人								決算額
								22,518千円
								実績値
								572人
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
必要な支援は実施していると思われる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成30年度予定								
前年度と同様に実施する。								予算額
								24,500千円
								目標値
								600人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(2) 地域生活の支援		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H28)	目標値(H29)		
相談支援事業	福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
【目的】 障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。					
【事業内容】 ①福祉サービスの利用援助 ②社会資源を活用するための支援 ③社会生活力を高めるための支援 ④権利の擁護のために必要な援助 ⑤専門機関の紹介 等					
平成29年度実績					
相談実人数:805人 相談延人数:7,064人 地域活動支援センター柿の木 :実人数 176人・延人数 3,362人 相談支援センター豊正園 :実人数 99人・延人数 868人 南愛媛療育センター :実人数 271人・延人数 1,312人 地域活動支援センターグリーン工房 :実人数 47人・延人数 221人 相談支援事業所八つ鹿工房 :実人数 20人・延人数 417人 福祉課 :実人数 192人・延人数 884人					決算額
					28,878千円
					実績値
					7,064人
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
相談者の障害内容は、発達障害、高次脳機能障害、難病など多岐にわたり、相談内容も複雑で処遇困難ケースも多い。このため、相談支援従事者は、より高い専門性、関係機関との連携・調整等のコーディネート力が求められており、相談支援専門員等の質の向上を図っていく必要がある。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成30年度予定					
相談支援専門員の増員の動きもみられ、今後も体制整備や質の向上に努めていく。					予算額
					23,657千円
					目標値
-					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
自立支援医療事業	福祉課							
事業の概要								
障害のため、医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、自立と日常生活の安定に寄与する。								
平成29年度実績								
自立支援医療(更生医療) 対象レセプト 3,423件(118,392,042円) 自立支援事業(育成医療) 対象レセプト 70件(1,055,614円)							決算額	
							119,448千円	
							実績値	
							3,493人	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
必要な医療助成を実施している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成30年度予定								
前年度と同様に、制度に基づき実施。 自立支援医療(更生医療) 125,000千円 (育成医療) 1,700千円							予算額	
							126,700千円	
							目標値	
							-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(2) 地域生活の支援		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H28)	目標値(H29)		
重度心身障害者医療事業	福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
重度心身障害者のため医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、医療費の無料化を実施し、重度心身障害者の生活の安定と福祉の増進に寄与する。					
平成29年度実績					
対象人員: 2,174人 助成件数: 61,260件 助成金額: 306,374,813円 施行事務費: 4,047,422円					決算額
					310,423千円
					実績値
					2,174人
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
必要な医療助成を実施している。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					
平成30年度予定					
前年度と同様に実施予定。					予算額
					324,115千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課							
事業の概要								
在宅重度障害者の福祉の増進を図るため、精神又は身体に重度の障害を有する在宅障害者の方に対し、その重度の障害によって生ずる特別な負担の一助として手当を支給する。								
平成29年度実績								
受給者数: 102名 支給件数: 1,256件 支給金額: 29,397,100円							決算額	
							29,398千円	
							実績値	
							1,256件	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
着実に事務を実施している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成30年度予定								
前年度と同様に実施予定。							予算額	
							31,300千円	
							目標値	
							-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(2) 地域生活の支援		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H28)	目標値(H29)		
特別児童扶養手当事務事業	福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
精神又は身体に障害のある児童を家庭において看護している者に対して、国が特別児童扶養手当を支給し、その児童の福祉の増進を図るため、事務取扱を実施する。					
平成29年度実績					
受給者数：158名					決算額
					283千円
					実績値
					158名
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
着実に事務を実施している。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成30年度予定					
前年度と同様に実施予定。					予算額
					283千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(3) 教育・育成の充実				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
特別支援教育推進事業	福祉課							
事業の概要								
関係機関との連携のもと、障害児教育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。								
平成29年度実績								
宇和特別支援学校の進路学習会に参加(3回/年) 目的:卒業後の進路や福祉サービスに関する情報提供と関係機関の連携を図るため 7月 7日 高等部2年生(10名) 9月25日 高等部1年生(10名) 12月11日 高等部3年生(14名)							決算額	
							0千円	
							実績値	
							34名	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
進路の選択や福祉サービスの手続きなどについて、相談支援専門員と行政が助言等を行っている。福祉サービスを利用する場合にはどのような支援が必要か確認できる機会になっている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成30年度予定								
宇和特別支援学校の進路学習会に参加(3回/年) 日程未定							予算額	
							0千円	
							目標値	
							-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(3) 教育・育成の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
特別支援教育推進事業	福祉課 【教育総務課】						
事業の概要							
関係機関との連携のもと、障害児教育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。							
平成29年度実績							
認定こども園・幼稚園・保育所に勤務する教諭・保育士は、特別支援教育に関わる研修等に積極的に参加し、特別な支援を要する児童一人一人のニーズに合った教育の充実を図っている。							決算額
							0千円
							実績値
							100%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
切れ目のない支援に繋げるよう関係各機関の連携を強化 発達支援センターの開設に向けた協議の必要性							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成30年度予定							
切れ目のない支援に向けどのような支援体制が望ましいか関係各課で協議を実施予定							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(3) 教育・育成の充実				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
特別支援教育推進事業	学校教育課							
事業の概要								
<p>関係機関との連携の下、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。 高齢者や障害者についての理解を深める。 相手の立場と人格を尊重する態度を育成する。</p>								
平成29年度実績								
<p>宇和特別進学校に通う児童とのふれあい体験学習を実施した。 関係諸機関との連携の下、障がいに対する認識を深め特別支援教育の充実に努めた。 総合的な学習の時間において、福祉学習(聴覚障がい、視覚障がい、高齢者福祉、児童福祉)への理解を深めた。</p>								決算額
								実績値
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
<p>特別支援学級に在籍する児童、支援員を必要とする児童、配慮を必要とする児童への共通理解が深まった。 お年寄りとの交流を通して、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶことができた。 人権・同和教育における学習内容との関連性を踏まえ、学習機会の確保を図る。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成30年度予定								
<p>特別支援コーディネーターを中心とした、校内支援委員会やケース会議、研修会を実施する。 高齢者や障がい者と計画的・積極的に交流活動の充実を図り、理解を深めるとともに、その学びを校内及び家庭・地域に発信する。 専門的な知識を持っている講師等を招き、発達障がいを抱える生徒への理解を深めていきたい。</p>								予算額
								目標値
								-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進				(4) 消費者対策の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課	45人	500人	①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
消費者支援講座の開催。								
平成29年度実績								
コープえひめ宇和島支所において一般組合員対象に、主な消費者トラブルと対処法、クーリングオフ、身近な方の小さな気づきが消費者トラブルを防ぐことなどを伝える。 日常生活圏地域ケア会議(包括支援センターの管轄)において、「高齢者を詐欺から守れ」という内容で事例検討など。								決算額
								-
								実績値
								77人
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
市民に対して、自分自身で身を守る知識や判断能力を身につけることを目的とした講座を行った。今後においても、消費生活に関する正しい情報や知識を啓発することが大切と考える。ただし、消費生活相談員が1名体制のため窓口等での相談業務との両立が困難である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成30年度予定								
ロビー展等で消費生活出前講座及び悪徳商法等についてのパンフレットを配布し、啓発活動を行いながら実施。								予算額
								-
								目標値
								500人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(4) 消費者対策の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
消費者啓発事業	企画情報課						
事業の概要							
消費者に関する理解を広めるため、消費生活センターの周知を行なうとともに、意識啓発を図ろうとするもの。							
平成29年度実績							
広報うわじまへの差込印刷(啓発チラシ)3回/年 安心安全メール配信による注意喚起 19回(H30.3.23現在2,856名登録) ロビー展開催 H29年8月28日～9月1日 市役所1階ロビー 市民約500名						決算額	-
						実績値	-
						進捗状況	4
事業に対する評価・課題等							
多くの市民に対して、最近多くみられる事例などを紹介することができ、消費者被害に遭わないように注意喚起・啓発を行うことができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成30年度予定							
例年同様に各種手法を用いた注意喚起等を行っていく。						予算額	-
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進	(5) 高齢者の生きがいづくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続 ● ③新規
老人クラブ育成事業	高齢者福祉課				
事業の概要					
高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、老人クラブ活動への補助金を交付している。					
平成29年度実績					
年間活動延月数 : 1,080ヶ月(90クラブ) ○社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) ○老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座等) ○健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等)					決算額
					1,761千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
3					
事業に対する評価・課題等					
高齢者の生きがいや健康づくりの推進が図られた。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成30年度予定					
年間活動延月数 : 984ヶ月(82クラブ) ○社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) ○老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座) ○健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等) ○三世代交流会、地域交流会、注連縄、門松作り					予算額
					1,626千円
					目標値
-					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進				(5) 高齢者の生きがいづくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)					
高齢者の生きがいづくり推進事業(地区公民館)	生涯学習課	12館	30館	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
高齢者が地域の活動に積極的に参加し、生き生きと暮らしていけるよう、各地区公民館において高齢者が気軽に参加できる学級・講座や学校の教育活動を支援するボランティア活動を実施するもの。								
平成29年度実績								
【高齢者学級】 実施公民館数 : 12館 実施回数 : 25回 高齢者参加者数 : 889人(うち、男性370人、女性519人)							決算額	
							45千円	
							実績値	
							12館	
							進捗状況	
4								
事業に対する評価・課題等								
各種学級・講座は、男女の別や年齢に関わらず、できるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるように工夫している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成30年度予定								
【高齢者学級】 実施公民館数 : 15館 実施回数 : 30回 延べ時間数 : 75時間							予算額	
							190千円	
							目標値	
							30館	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進				(6) 高齢者や障害者等にやさしいまちづくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課	13館	15館					
事業の概要								
公民館33館(中央公民館、分館2館含む)のうち、障害者用トイレ設置館は13館で、将来的に全館設置を目指しているものの、多額の財源を必要とするため、長期的な計画として引き続き平成29年度までに2館増を目標とするもの。								
平成29年度実績								
公民館33館(中央公民館、分館2館含む)のうち、障がい者用トイレ設置館は13館で、将来的に全館設置を目指しているものの、多額の財源を必要とするため、長期的な計画として引き続き平成29年度までに2館増を目標とするもの。								決算額
								0千円
								実績値
								-
								進捗状況
								1
事業に対する評価・課題等								
障害者用トイレ設置済みの公民館からは、暖房便座、ウォシュレット等の設置希望があり、今後未設置の公民館の設置と併せて協議していく必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成30年度予定								
障害者トイレ設置のための現地調査を継続する。								予算額
								0千円
								目標値
								-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実			(1) 介護予防事業の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)				
介護予防事業に係る二次予防事業	高齢者福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、基本チェックリストで把握する。把握した二次予防事業対象者に、通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業を実施する。事業の利用等により、要介護状態等となることを防ぎ、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。							
平成29年度実績							
<h1>29年度より事業廃止</h1>							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成30年度予定							
							予算額
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実	(1) 介護予防事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
介護予防事業に係る一般予防事業	高齢者福祉課			①充実		●	③新規

事業の概要

地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的に実施されることを図る。
健康教育や健康相談等を通じて、介護予防を普及啓発したり、地域における活動の育成や支援を行う。

平成29年度実績

◎介護予防普及啓発事業 ○講演会……188回・4,436人 ○相談会……110回・955人 ○イベント(ガイヤカーニバル等)……3回・82人 ◎地域介護予防活動支援事業 ○ボランティア講座等……5回73人 ○自主グループ支援(うわじまガイヤ協力団体)……69団体・1,076人 ○介護予防講座(生き生き教室、サロン等)……2,214回・21,037人 ○介護予防講座(老人クラブ)……5回・86人	決算額
	42,675千円
	実績値
	左記参照
	進捗状況
	4

事業に対する評価・課題等

- 介護予防普及啓発事業
 - ・生き生き教室、老人クラブ協働型介護予防教室を実施することにより、介護予防活動が市民に浸透してきている。
 - ・うわじまガイヤ健康体操を広く市民に普及するため、うわじまガイヤ協力団体(市民5人以上の団体)を市内隔々まで拡大する必要あり。
- 地域介護予防活動支援事業
 - ・元気づくりサポーターの人材育成より、介護予防活動への参加や連絡会を開催する等、ボランティア養成の基盤整備を図ることができた。今度、拡大が必要。
 - ・サロン・老人クラブ等への介護予防講座の実施により、介護予防活動が市民に浸透してきている。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成30年度予定

○介護予防把握事業 <ul style="list-style-type: none"> ・重症化予防対策 ・要介護認定非該当訪問 ○介護予防普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・生き生き教室の実施 ・うわじまガイヤ健康体操の普及啓発 ・ガイヤマイレージ制度の運用 ・介護予防講座(老人クラブ協働開催型、出前講座等)の実施 ・介護予防ボランティアの育成対策 ○地域リハビリテーション活動支援事業の実施	予算額
	67,437千円
	目標値
	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	IV 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実			(2) 地域包括支援センター事業の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)				
介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、要介護状態となることを予防する為、心身や環境等の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等その他の適切な事業が包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行うことを目的としてケアマネジメントを行う。							
平成29年度実績							
<h1>29年度より事業廃止</h1>							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成30年度予定							
							予算額
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実	(2) 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実		●	③新規

事業の概要

高齢者が安心して生活を続けていくために、介護保険サービスだけでなく関係機関のネットワークを活かしながら、総合相談支援を通じて、制度の垣根を越えた横断的・多面的な援助を目指す。
 高齢者が認知症や要介護状態になっても、生命や財産が守られ、日常生活に支障をきたすことなく安心して暮らすことができるよう、個人の尊厳を保持するための権利擁護事業の効果的な活用を促進する。

平成29年度実績

◎総合相談事業 ○総合相談延べ件数……3,165件 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待通報件数……17件(内、虐待と認定した件数……6件) ○成年後見制度に係る相談件数実件数……25件(申立て件数3件)	決算額
	21,738千円
	実績値
	左記参照
	進捗状況
	4

事業に対する評価・課題等

○個別訪問により実態把握を行うことで、支援を必要とする高齢者を発見し、適切な支援や継続的な見守りを行い、問題の予防的対応を図ることができた。
 ○協力事業所や見守り推進員と連携して、地域全体で見守りや訪問等を行い、日常的な安否を確認するとともに、異常等を発見した時に迅速に対応できるよう努めた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	3

平成30年度予定

◎総合相談事業 ○初期相談から、継続的・専門的な援助まで対応する総合的な相談支援 ○高齢者の実態把握のための個別訪問 ○高齢者地域見守りネットワークの運営 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待防止への取組 ○成年後見制度の活用 ○消費者被害の防止	予算額
	18,422千円
	目標値
	—

実績の進捗状況

かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価

十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備							
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実			(2) 地域包括支援センター事業の実施				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実		②継続	●	③新規
成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課							
事業の概要								
①高齢者などからの権利擁護に関わる相談などに対応する。 ②成年後見人制度の利用が必要と思われる人について、その家族などに成年後見人制度の必要性や手続き等を説明し、申し立てにつなげる。 ③成年後見人制度が必要であるにも関わらず身寄りがないような人について、市長申し立てにつなげる事等の権利擁護に係る事業を行う。								
平成29年度実績								
○相談案件数……25件 ○申し立て件数……3件(うち市長申し立て件数 1件)							決算額	
							7千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	4
事業に対する評価・課題等								
成年後見人制度の利用に関する説明や助言を行い、申し立てにともなう支援を行った。又、成年後見人制度を広く普及させるための広報の利用、並びに地域の医療機関、権利擁護に関わる団体等との連携を図った。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成30年度予定								
○相談・制度説明・手続支援							予算額	
							666千円	
							目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実			(2) 地域包括支援センター事業の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課						
事業の概要							
地域包括ケア体制ネットワークの構築 介護支援専門員の情報交換促進 介護支援専門員に対する日常的指導・相談 支援困難事例への指導							
平成29年度実績							
地域ケアネットワーク会議を構成する部会を定期的を開催することで、地域ケアネットワーク会議の強化を図った。 ◎地域ケアネットワーク会議……2回 ・認知症施策推進部会……2回 ・認知症ワーキング会議……2回 ・生活支援、介護予防部会……1回 ・在宅医療看護・介護連携部会……2回 ・看護連携推進会議……2回 ・個別地域ケア会議……8回 ・圏域別地域ケア介護……23回・延参加者数 701名						決算額	
						1,176千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
市内40か所の居宅介護支援事業所の介護支援専門員100名からの相談は、年々支援困難事例が増加しているため、部会を定期的を開催し関係機関との繋がりを強化することで、個別の事例に対応できるネットワーク構築に力を入れている。今後は、日常生活圏域毎の地域ケア会議を開催し、独居高齢者の見守り、虐待、認知症等多様化する問題に対応できる様、地域ケア会議の充実を図り、運営協議会との繋がりを強めていく必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成30年度予定							
◎介護支援専門員に対する個別支援 ①支援困難事例を抱える介護支援専門員への支援(窓口相談・同行訪問) ②サービス担当者会議の開催支援 ③ケアマネジメントの質の向上のための研修会開催 ◎包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築 ①「地域ケア会議」を中心とした関係機関の連携体制づくり						予算額	
						981千円	
						目標値	
						—	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(3) 認知症高齢者への支援		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H28)	目標値(H29)	①充実	②継続 ● ③新規
認知症施策	高齢者福祉課				
事業の概要					
「認知症になっても安心して暮らせる街・宇和島」を目指し、認知症高齢者や家族が安心して生活できる地域づくりを推進する。認知症初期集中支援チームを始動し、認知症の早期発見、早期対応に努めるとともに、軽度認知障害への対応を強化する。さらに、サポーター養成講座、認知症ケアパスなどを通じて市民に広く認知症についての理解を促進する。					
平成29年度実績					
○認知症施策推進部会……宇和島市として取り組む認知症対策について、検討する。 ○認知症ケアパス普及啓発 ○認知症地域支援推進員養成 2名 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為に協力者を確保するとともに、情報伝達のしくみを宇和島市全体で取り組む。だんだんネット協力事業所総数431事業所。 ○認知症学習会 ・映画上映 2会場3上映 971名 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年14回・294人 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の開催 年1回・18名参加(メイト登録者156名) ・認知症家族のつどいへの協力 年12回 ・介護教室……1回 58名 ・認知症初期集中支援チーム員会議……8回実人数6名					決算額 2,152千円 実績値 左記参照 進捗状況 4
事業に対する評価・課題等					
○認知症サポーター養成講座や研修会を通じて、認知症が病気であることの理解者や支援できる認知症サポーターの養成が推進できた。 ○徘徊SOSネットワークの構築については、警察、消防を含めた多機関との連携強化が重要である。オレンジネットワーク(広域ネットワーク)の充実も課題である。 ○映画上映により、若い世代(小中学生)に普及啓発を図ることができた。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3
平成30年度予定					
新オレンジプランに基づき認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○認知症施策推進部会……適宜部会を開催し、認知症対策について、検討する。 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為に協力者を確保し、情報伝達ルートの確立。 ○認知症医療・ケア研修会、ケアマネとの連携 ○認知症学習会 ・認知症の普及啓発……映画上映 ・認知症講座(サポーター養成講座) ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の開催 ・認知症家族のつどいへの協力 ○認知症ケアパス普及啓発 ○認知症初期集中支援チーム員会議					予算額 6,646千円 目標値 -

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	3 貧困など生活上の困難に直面する男女への支援	(1) 多重債務相談の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H28)	目標値(H29)		
多重債務相談	企画情報課			①充実	②継続 ③新規
事業の概要					
認定司法書士による多重債務相談を行ない、問題解決方法などの情報提供を行なう。					
平成29年度実績					
認定司法書士による無料多重債務整理相談を実施。(年6回開催)					決算額
					90千円
					実績値
					-
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
債務問題を抱えた方に対して、専門家による問題解決方法などの情報提供を行うことができた。また、消費生活相談員による消費生活に関する問題に対する相談窓口の充実を図ることができた。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成30年度予定					
例年同様、認定司法書士による無料多重債務相談を6回開催予定。					予算額
					90千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-